

北東アジアにおけるSDGsの実施を促進するための企業の役割(要旨)

韓国・SDコリアフォーラム常任理事
林崗澤

本稿は、北東アジアにおけるSDGs実施に向けた協力を活性化させるために、企業が積極的に参加できる場をどのように創出するかについて検討する。

SDGs実施の最近の動向は厳しい。2024年6月に発表された『持続可能な開発目標報告書2024』では、大規模な投資と行動の拡大なしにはSDGsの達成は困難であると警告している。また、北東アジア諸国の国内実施状況をみると、SDG13（気候変動対策）、SDG14（海洋生態系）、SDG15（陸域生態系）に焦点を当てた地域レベルでの協調的な対応が必要であることが示唆される。

本稿では、特に気候変動への対応に向けた北東アジアの企業間連携の必要性を強調し、その推進方策として4つの方法を提案する。

第一に、北東アジア地域レベルでの気候対応に向けた企業の連帯と協力を促進するための準備作業として、専門家グループによる共同研究を行う必要がある。

第二に、北東アジアの企業間の協力のためのパートナーシップを構築する必要がある。

第三に、当該地域の政府から適切な政策支援を求める必要がある。

第四に、比較的小規模なパイロットプロジェクトを成功させることで、協調的取り組みが成果を上げることができるということが確信されるようにしていく必要がある。